

4 月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	方田	参加 メンバー	CL:天野、SL 津田、 町田、亀山、沼崎、方田
個人		報告日	4 / 22		
山 域	荒島岳	山行日	2013 年 4 月 12 日 (金) ~		
山 名			2013 年 4 月 13 日 (土)		
山行目的	雪山を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図 :

< 4/12 小雨 >  
19:00 刈谷発  
21:30 九頭竜駅 泊  
< 4/13 晴れ >  
5:00 出発  
6:00 勝原ｽｰ場跡地  
6:20 登山開始  
7:10 登山口 (1 本)  
7:50 白山ベンチ  
8:10 深谷 (1 本)  
9:00 しゃくなげ平  
(1 本)  
10:30 山頂  
11:00 下山  
11:45 しゃくなげ平  
(1 本)  
12:40 登山口  
13:15 勝原ｽｰ場跡地  
18:00 刈谷

ブナ林



山頂 (富山方向)



山行報告 日本百名山の一つ荒島岳。2 年前に入部して始めて登った思い出深い山でもあり、本山行に参加した。小雨が降る中、158 号沿いの道の駅「九頭竜」の待合室で、MVA-の入部のきっかけなど語らいシェフのみで宿泊。登山口の廃勝原ｽｰ場に到着。ｽｰ場には、雪はまったく無いが、山頂には雪が見える。新調したアゼン、ピッケルで、使用してみたく、胸が躍る。暫く登山道を登ると道端に残雪が、さらに進むと雪道となり、ブナ林を縫って登る。ブナ林途中から先頭を任される。前日の雪のため、足跡のないまっさらな雪面の上を、一步一步、足を運ぶ。サイコーに気持ち良い。しゃくなげ平直前、急斜面なので、ジグザグ登っていたら、後ろ (亀山さん? 町田さん?) から、『まっすぐ歩く!』みたいな声が聞こえた。たしかに、残雪のため、直登できるが、結構厳しい。夏場なら、ほぼ決められたルートがあるのに対し、冬山 (残雪期) は、無数のルート取りが可能となる。これが、残雪期の醍醐味だと感じる。登りのしゃくなげ平で、大学生らしきパーティー 8 名がいた。津田さんが話しかける。どうやら、津田さんのご子息のお友達らしく、大学山岳部とのこと。世間は狭いと感じる。山頂からは、残雪の山々が、特に富山方向の眺めは素晴らしい。

すれ違う登山者は、高い確率で、アゼン、ピッケルを使用しているのに対して、DN 山岳部は、まったく使用する気配なし。今回のパルの雪質では、DN 山岳部は、使用しないとのこと。新調したアゼン、ピッケルは、使用する機会がなかったが、春合宿にて、しっかり技術を習得したい。今後、必要・不必要を判断する力も身につけたい。

フリースペース



確認  
(リーダー)  
天  
13/05/01  
野  
作成  
(報告者)  
方  
13/04/22  
田

リーダー所見 予測ではカチカチに凍った道を、アゼンを効かせて登ると思っていた。ところが前日に 15 cm ほどの降雪があり、ふかふかの雪道となった。雪山デビューの方田君にはアゼンを体験できず残念だったが、少しは慣れてくれたと思う。また天気が良く気持ち良く登山でき親睦も深まり良い山行となった。

荒島岳山頂間近。若者を抑えて、DN ロードを築く亀山さん。